

駒の館だより

明治国際医療大学図書館報

第29号

平成22年3月1日 発行

明治国際医療大学附属図書館

〒629-0392 京都府南丹市日吉町
TEL. 0771-72-1181 (代)



目次

- | | |
|--|----------------|
| ① 統合医療的研究の難しさ | 中尾 昌宏 |
| ② 自著を語る
「リハビリテーション医療」
臨床経穴ポケットガイド 361穴 | 平澤 泰介
篠原 昭二 |
| ③ 私のお薦めの一冊
『モモ』 | 吉元 授 |
| ③ 随筆
「鼻をつまんでサンフランシスコへ」 | 日野こころ |
| ④ 特別寄稿①
「自然の宝庫、南丹市」 | 片山 憲史 |
| ⑤ 特別寄稿②
『TAIWAN奮闘記』 | 石崎 直人 |
| ⑥⑦ 新着図書案内一覧 | 附属図書館 |
| ⑧ 図書館からのお知らせ／編集後記 | // |

統合医療的研究の難しさ

附属図書館長 中尾昌宏



いくつかの要因を同時に評価しなければならぬような臨床研究では、意味のある成果を得ることが非常に難しいことがあります。

たとえば夜間頻尿は夜中に1回以上トイレに起きなければならない排尿症状と定義されていますが、年齢、高血圧、糖尿病、軽度の心不全や腎不全、末梢の浮腫、膀胱前立腺疾患、睡眠障害、食事や運動も含めたlife styleなどとも関連の深い複雑な病態です。その主な原因は1日尿量の増加、夜間尿量の増加、膀胱容量の低下、睡眠障害に4分類されます。本学の目指す統合医療に通じる研究にもなるのではないかと考え、排尿日誌のデータを解析して、種々の治療を行ってこれら4つの原因をすべて同時に改善するのが最も有効な治療法であるという内容の論文を最近イギリスの雑誌に投稿しました。臨床医ならその意義を理解してくれるのではないかと甘く考えていましたが、案の定レフェリーから「曖昧で臨床的に意味のない結論であり、方法論からやり直せ。」という内容のコメントを突きつけられてしまいました。

明治国際医療大学誌の創刊号を読みながら考えてみましたが、統合医療とは西洋医学、東洋医学、その他の補完代替医療等を有効的に組み合わせた新しいframeworkを構成することでしょう。ただ、いくつかの治療法を組み合わせ

たような研究はどの方法が有効なのか分からないため曖昧な内容となり、雑誌にacceptされるのが難しくなります。勢い一つのテーマを細部まで掘り下げてその意義を検討することにならざるを得ませんが、それでは大きな枠組みの構築は難しいでしょう。逆にデータやevidenceがなければ、いくら論文を書いても主観的情緒的な内容にしかならず、人を説くことはできません。現時点では、大きな枠組みに関するような研究をする時でも細部について極力追求して解析し、群盲が象を撫でるようなことにならないよう、客観的データからどこまで大きな内容について言及できるのか智慧を絞ることが重要ではないかと考えています。

さて図書館では22年度より15タイトルほどオンラインジャーナルを導入することになりました。不十分だとは思いますが、情報の収集や整理がより容易になります。ふるってご利用の上、今後とも建設的なご意見をお寄せいただきますようお願いいたします。

セイヨウノコギリソウ

学名 Achillea Millefolium L.
キク科

葉はクシの歯のように切れ込んだ青緑色。花は白かピンクの可愛いバラソルの形状。戦場の軍人が簡単に手に入れることができる手当て用品で医療目的に用いていた。

(効能)
止血・殺菌・痔疾・ひび・あかざれ・潰瘍・狭心症・傷等に効く。

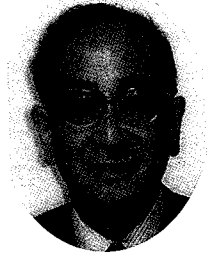




自著を語る



「リハビリテーション医療」



平澤泰介 田島文博 編集
金芳堂
2007/05出版 440p 26cm

医学教育センター
整形外科学ユニット
平澤泰介

整形外科医の私がリハビリテーション（以下リハ）の本を書くことを意外に思われることでしょう。実は45年ほどまえに米国

カリフォルニア大学に留学した際に、主任教授が“将来役に立つから”と、附属リハセンターにも研究室を与えて下さり、リハ医学に親しませて下さいました。事はこの「医師のための義肢装具学」を受講し、最終試験にA級で合格したことに始まるのです。この講習会はこの分野の大先輩である沢村誠志先生（神戸大）や故倉井周一先生（東大）も受講されました。その後、私は関節のリハを日本リウマチ学会の派遣により、ハーバード大学でClinical Fellowとして学びました。さらにシーボルトやレントゲン教授で有名なドイツ

Würzburg大学での客員教授時代には“靴”の文化を中心としたドイツ独特のリハをすすめるスタッフとも仲良くなりました。医大教授時代には整形外科とリハ科の部長を務め、退官後には日本リハ医学会の要請で学会に「国際委員会」を創設しました。多くの若手リハ医を海外に送り出し、2004年には日韓リハ合同カンファレンスを、多くの参加者を得て京都国際会議場で開催することもできました。

最近、高齢化社会となり、リハのニーズが高まり、回復期リハ病棟の整備の必要性などが叫ばれるようになりました。今回このような経過のなかで、若手の新進気鋭の田島文博教授の協力を得て、今の社会に求められているリハ医学を浮き彫りにしようと本書を企画しました。国内の著名な先生達のみならず、私が海外滞在中に親交を深めた中国・韓国・米国・ブラジル・ドイツの高名な先生達の絶大な協力で、国際色豊かな内容になったかと思えます。図書館で目にとまりましたら、ページをめくってみて下さることを期待します。



臨床経穴ポケットガイド361穴



篠原昭二著 医歯薬出版
2009年刊 258p 19cm

鍼灸学部
伝統鍼灸学ユニット
篠原昭二

平成21年4月からWHO/WPROによって決定された新しい標準経穴部位による教育が導入されることとなった。どうしてこれまでの経穴ではダメなのか？

従来の経穴と比べて治療効果はどうか？など、種々の疑問点が囁かれていた。本書は、3年生を対象として教育していた「経絡経穴学Ⅱ（臨床経穴学）」の講義内容をテキスト化したものである。経穴は単に国家試験の暗記科目で、ひたすら取穴法を覚えなければならないとてつまらない科目ではなく、何らかの異常があるとき、身体のおちこちに独得の反応が出現し、そして、顕著な反応のある穴に鍼灸の治療を施すことによって、愁訴の軽減や疾病の治癒を導くことができることもユニークで興味深い内容を包括している。そこで本

書では、（1）新旧経穴位置の違いや取穴法についてまとめるとともに、（2）中医学的な経穴の臨床応用の資料としての穴性（穴位効能）を取り上げた。

また、（3）臨床のヒントとして、どのような疾患や愁訴に用いられてきたのか、さらに、筆者の実際の臨床経験に照らして、単穴で大きな効果を示したり、組み合わせで有効であったものを詳しく取り上げた。取り上げた内容はそれほど多いものではないが、追試頂ければ幸いである。その他、（4）経穴と深く関連する解剖の特徴や経穴のデルマトームについても一部取り上げた。全体を通じて、独断のそしりを免れない可能性があるが、日本の伝統鍼灸において、経穴や経絡は無くしてはならぬ重要な位置を占めているにもかかわらず、十分な成果や研究書が出されていないのが悲しい現実である。本書が、鍼灸臨床におけるベッドサイドで経穴の面白さ、経絡現象を体感するきっかけの書となれば、望外の幸せである。



私のお薦めの一冊

『モモ』



出版社：岩波書店
著者／訳者名：ミヒャエル・
エンデ／作、大島かおり／訳
発行年：1976 全360ページ
大きさ：22cm 値段：1785円

鍼灸学部
臨床鍼灸学ユニット
吉元 授

『モモ』はドイツの児童文学作家ミヒャエル・エンデの代表作の一つで、多くの人が一度は手にとったことがある作品だと思っています。私がこの本に出会ったのは幼い頃ですが、数年前にふと懐かしくなって購入しました。読み返してみると幼い頃とは全く違い、児童文学の枠にはまらないとても奥深いものを感じました。作者はナチスが台頭してきた1920年代に生まれ、青年期をナチス政権下のドイツで過ごしますがそんな悲惨な時代を生きたとはいえないほど想像力に富んだすばらしい作品を残しています。しかし、そういう時代を生きただからこ

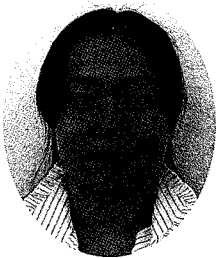
そ現実とは違った世界を描きたかったのかも知れません。

本作は40年近く前に書かれたにも関わらず現代を描写しているようで、私たちの日常がそこに存在しているかのような不思議な感覚がします。本作のキーワードは「時間」であり、今の私たちの生活が「時間」という概念なくしては成り立たない様子がよく表現されています。それが日常であると私たちは何の疑いもなく過ごしていますが、「時間がない」、「もっと時間が欲しい」などと口にして、毎日を「時間」に追われて忙しく動き回っています。「時間」の捻出は誰もが直面する問題ですが、それにとらわれすぎると気づかないうちに日常生活や人間関係、あるいは仕事にまで不具合を生じかねません。「時間」をどの様にとらえ、どうつきあっていくかを問いかけている本作は、児童文学らしくファンタジーやスリルに溢れているのはもちろんのこと、随所に社会風刺も盛り込まれているのである意味大人向けの作品だと思います。本を読む「時間がない」時にこそ、本作はおすすめです。



随筆

「鼻をつまんでサンフランシスコへ」



鍼灸学部
基礎鍼灸学ユニット
日野 ころこ

国際禁制学会 (International Continenence Society: ICS, 2009) に参加のため、サンフランシスコを訪れた一週間、私はとにかく憂鬱だった。初の国際学会は「口演なしのポスター発表で、初回は国際学会を堪能しよう」と思っていたのに、予定外の口演付きポスター発表。大誤算。

何を隠そう、私は英語が苦手だ。苦手なんてものではない。中学英語でこけてからは、常に何とか赤点を取らない程度の低空飛行を続けてきた。その私が国際学会で発表するなんて、私の友人は腹を抱えて笑った。大学院を経て、読むことは何とかなる。聞く、話すはどうすればいいのか？散々逃げしてきた私にはどうすることも出来なかった。当たり前だが、学会中は常に英

語。うんざりする程、英語しか無い。アメリカ英語ならまだしも、他の国の人、なまりがきつく全く聞き取れない英語がそこにはあった。「耳が慣れる」こともなく迎えた発表。緊張しすぎて気分が悪かった。座長も質問者もかなり優しい目で私を迎え、易しい英語で話しかけてくれた(だろう)。しかし私は何一つ分からなかった。

人は嫌なことからは「逃げる」ものだと思う。私も例外無く「逃げて」きた。しかしどうにも逃げ切れないと悟った時、恩師が言った言葉を思い出す。「嫌でも鼻つまみながら、とにかく続けること。いずれ形になる。」22歳の私にはピンと来なかった言葉。今なら分かる気がする。英語が嫌いだと逃げ回ったはずの私は、英語が不可欠な研究の道にいる。鼻をつまみながら英語を読み続けた5年。どうにか前に進むようになった。今回の学会を経て、「次は話せるようになろう。」私の新たな挑戦が始まった気がした。



「自然の宝庫、南丹市」



鍼灸学部 健康・予防鍼灸学ユニット 片山 憲史

私は、昭和35年に大阪の下町、旭区で生まれました。その後、郊外の大阪府枚方市に転居し、昭和56年から日吉町、昭和60年から園部町を生活の拠点としています。こちらへ来ていつの間にか30年近い年月が経ちました。現在は、市町村合併で南丹市と名称が変わりましたが、今でも自然の多く残るこの地は、大阪で育った私にとって自然の宝庫、まさに宝の山です。私が係わってきた自然との触れ合い?の一部を回想、紹介します。

今年は、超不作の丹波マツタケも昭和62年頃までは豊作で、マツタケ山を所有している患者さんから、1kg詰めめの箱を4箱も頂いたことがありました。その頃はキツネも多くみられ、時には月の輪グマが出没し、大学のキャンパスにも「熊に注意!」のポスターが掲示されていました。

平成4年7月には、絶滅危惧種である水性昆虫のタガメを見つけました。附属病院裏の臨床研究棟へ行く階段下の常夜灯に飛来していたのを運良く捕獲し、暫く大切に飼育していました。近所の田んぼから採取したエサのドジョウが農薬に汚染されていたのが原因なのか、国際学会で2週間留守にしている間に無念にも成仏していました。キツネやクマは、現在では減少しましたが、タヌキやシカは近年でもよく遭遇します。2年前には、教室の院生の乗っていた車が子鹿とぶつかり、幸いシカはすぐに元気でその場から走り去ったそうですが、車が大破してしまいました。私も昨年、縦貫道でかわいい茶色の野ウサギを車で撥ねてしまいブルーな日々が続きました。

先月は、園部町の自宅前の田んぼで、深夜「プヒー、プヒー」と断末魔のような悲鳴が聞こえてきたので見に行くと、シカよけの防御ネットに1頭のイノシシが絡まっていました。直ぐに自力で脱出できたので安堵しましたが、近くでイノシシのファミリーが10頭以上も心配そうに見守っていたのが印象的でした。

最近、数は減ってきましたが、例年6月中旬にはゲンジホタルが乱舞し、夏にはタマムシも見かけます。また、環境の変化が原因なのか10年程前からアブラゼミが減り、都市部に多いクマゼミが増えました。

私の好きなオオセンチコガネも7号館2階の階段下で時々見られます。体長20mm前後のコガネムシの仲

間で、ファーブルの「昆虫記」に登場する有名なスカラベは「スジセンチコガネ」のことで、本種の近縁です。センチとは、便所を指す語「雪隠(せっちん)」が訛ったもので、うんこに集まる習性に由来しています。うんこまみれになってうんこを食べる昆虫でシカやイノシシ、タヌキなどの獣糞がエサです。フンコロガシやフン虫、クソムシと呼ばれ、汚い虫とイメージされていますが、そのイメージとは裏腹に、写真のように美しい宝石のような金属光沢の輝きを持った昆虫です。長い距離を移動する事が無いので、地域によってさまざまな色彩変異が生まれます。



赤色型 緑色型 藍色型
オオセンチコガネ (*G. auratus auratus*)

全国的には赤色型が基本ですが、京都府南部から鈴鹿山脈にかけての個体は鮮やかな緑色(ミドリセンチコガネ)、奈良県や紀伊山地では鮮やかな藍色(ルリセンチコガネ)になります。秋の産卵期には、糞の下に深い穴を掘り、その穴に糞を詰めて産卵し、幼虫はその糞を食べて成長します。山の中で宝石のように美しく輝く昆虫ですのでマニアの昆虫採集の対象でもあります。うんこが食べ物ですが、糞虫として自然界の物質循環に果たす役割は大きいと言われています。

このように30年間で多少環境の変化はありますが、まだまだ自然の残る南丹市は、素敵な町です。読者の皆様も色々な形で自然と触れ合ってみては如何でしょうか? きっと新しい発見があると思いますヨ……。

『TAIWAN奮闘記』



鍼灸学部 臨床鍼灸学ユニット 石崎直人

もう4年以上前のことになりますが、本学勤続15周年表彰の際に頂いた旅行券を利用して台湾を訪れたことがあります。渡航のきっかけは1編の学術論文でした。当時私は学位取得のための研究を進めておりました。参考にした論文は Diabetologia という糖尿病専門誌に掲載されたもので、鍼刺激と血糖値に関するものでしたが、結果が再現できずに苦心しておりました。その論文を書いたのが台湾の方だったのです。私は半ばあきらめかけていた気持ちをなんとか奮立たせて論文にあった連絡先にメールしたのですが、ようやく通じたメールで相談してわかったのは私の実験手順にはほとんど問題がないことだけでした。メールのやりとりにも限界を感じ始めたときに相手が発した言葉は『鍼通電の器械が違う』でした。これを聞いて私はがっかりしました。通電の条件は論文に記載してありましたが、同じ条件になるようにオシロスコープでモニターしながら実験しておりましたので、器械を変えたくらいで結果が変わるとは到底考えられなかったのです。それでもあきらめがつかない私は、その Chang Shih-Liang (張世良) という方に、実験を見せてほしいと切り出してみました。おそらく逃げ腰(失礼ながら)で断られるという私の予想はずれ、忙しさに紛れて使えなかった旅行券を使う機会が突如として訪れたのです。

私にとって初めての台湾旅行は台北3泊4日で2日目に台中の中国医薬大学を訪問するという日程でした。なんとか敵地(?)に乗り込むところまで漕ぎ着けたものの、実際に会うまでは不安が消えません。その気持ちを増長するかのように先方の携帯電話は到着日から不通のままです。

仕方なく台中行きの特急列車の切符だけでも買おうと駅で売場を探す私に追い討ちをかけたのが言葉の壁でした。事前に自習して台湾からの留学生にも絶賛され完璧(?)だったはずの中国語が全く通じないのです。

結局筆談で『自強号』と特急の名前を書いてなんとか窓口に通り返し切符を手にいれましたが、翌日列車の発車直前までホームでかけ続けた電話も繋がらず、不安を抱えたまま乗った車窓の景色で記憶に残っているのは赤茶けた民家の屋根だけです。それでも何とか連絡しなければ、と車内を見廻しているところへ現れた車掌さんに身振りを交えて『telephone?』、『電話?』

と何度も繰り返しましたがこれも全く通じず、困惑しているところに横から中国語で『电diàn话huà!』と助け舟を出してくれた人がいました。乗車時から隣の席にいた若い女性で、SARSの流行を気にしてか大きなマスクに顔が覆われています。結局車内に電話はなかったのですが、(この女性は英語がわかるかも?)と思い、意を決して彼女が手元に握っていた携帯電話を借りられないか聞いてみました。怪訝そうな表情で、それでもOKとってくれた彼女から Chang 氏に(逃げられないように)直接話してから取り次いでもらうようお願いしました。結局そこで電話が通じて Chang 先生とも会合できたのです。後から聞いたところによると、先生は鍼の資格試験の委員で台北のホテルで周囲と断絶状態にあり音信不通だったようです。実際にお会いした先生は温厚な人柄で、実験見学後に通電器の購入をサポートして頂き、食事を一緒にした上に台中の駅までバイクの後ろに乗せてくれました。帰国後の実験はおかげで軌道にのり論文を仕上げることができました。そのときの奮闘も今は良い思い出になっています。

昨年その台湾の大学から本学に数名の先生方が訪問されましたが、期待していた Chang 先生は残念ながら所用で来日できませんでした。最近2つ目の論文が受理されたのを機会に台湾にお礼に行こうと考えています。

最後に誌面をお借りして Chang 先生へ謝意を表し稿を終えさせていただきます。太Tai谢xiè谢xie 你ni 了le。・・・電話の女子大生にも・・・谢谢。



新着医学系図書・視聴覚資料一覧

(平成21年1月～12月収蔵分)

書名	著者名等	出版社
免疫学イラストレイテッド(原書第7版)	David Male ほか 原著/高津聖志 ほか 監訳	南江堂
WHO/WPROの標準経穴部位-日本語公式版-	WHO西太平洋地域事務局 原著/第二次日本経穴委員会 監訳	医道の日本社
臨床経穴ポケットガイド361穴	篠原昭二	医歯薬出版
選鍼三要集 上下巻	杉山和一	(財)杉山検校遺徳顕彰会
療治之大概集 上中下巻	杉山和一	(財)杉山検校遺徳顕彰会
醫學節要集 完	杉山和一	(財)杉山検校遺徳顕彰会
ツボBook 即効!ズバリ押せる!	福辻鋭記	グラフ社
灸法実践マニュアル-督脈通陽法で治療効果をも高める	藤井正道	BAB ジャパン
皮部療法-経絡への皮膚感覚的アプローチ	富田満夫	創風社
鍼の力-知って得する東洋医学の知恵	藤本蓮風	緑書房
お灸入門	中村辰三	医歯薬出版
超旋刺と臨床のツボ-鍼灸問わすがり-	首藤傳明	医道の日本社
入門目でみる臨床中医診断学	王財源	医歯薬出版
医学的研究のデザイン 研究の質を高める疫学的アプローチ 第3版	スティーブ・バリ- ほか/木原雅子 ほか 訳	メディカルサイエンス・インターナショナル
Dr.オーハシの医療統計よもやま	大橋靖雄	ライフサイエンス出版
あきらめないで!「鍼」ならここまで治る 菊池式脈診流鍼灸・漢方の驚異	菊池亨/藤巻一保	学習研究社
鍼灸基礎実習ノート	森英俊 編者/佐々木和樹 編者/上田正一 ほか 執筆者/	医歯薬出版
詳解・経穴部位完全ガイド 古典からWHO標準へ	階共一 ほか/第二次日本経穴委員会 編集	医歯薬出版
イラストと写真で学ぶ逆子の鍼灸治療	形井秀一 編者	医歯薬出版
Annual Review 神経2009	柳澤詠夫 編集/藤原幸人 編集/岩田誠 ほか 編集/	中外医学社
経絡経穴合格プラン 国家試験対策 2010年版 はり師・ぎゅう師・あん摩マッサージ指圧師	経絡経穴学習会 編	源草社
ポケット鍼灸臨床ガイド	阪本敏 監修/古屋英治 ほか 編者	アルテミシア
症例で学ぶ高齢者の向精神薬・漢方薬治療	稲永和豊 編者	医薬ジャーナル社
運動器学 第2版 講義録	三浪明 編集/石山芳昭 編集/越智光夫 編集/	メジカルビュー社
神経疾患最新の治療 2009-2010	小林祥泰 編集/水澤英洋 編集	南江堂
病気がみえる Vol.6 免疫・膠原病・感染症	医療情報科学研究所 編集	メディックメディア
病気がみえる Vol.9 婦人科・乳腺外科 第2版	医療情報科学研究所 編集	メディックメディア
病気がみえる Vol.10 産科 第2版	医療情報科学研究所 編集	メディックメディア
柔道絞め技入門 固め技の名手二人に学ぶテクニック	柏崎克彦/小室宏二	ベースボールマガジン社
スポーツ理学療法	浦辺幸夫	医歯薬出版
運動療法学 障害別アプローチの理論と実際	市橋則明 編集	文光堂
運動療法と運動処方 身体活動・運動支援を効果的に進めるための知識と技術 第2版	佐藤祐造 編集	文光堂
運動療法のための機能解剖学的触診技術-上肢	青木隆明 監修/林典雄	メジカルビュー社
運動療法のための機能解剖学的触診技術-下肢・体幹	青木隆明 監修/林典雄	メジカルビュー社
スポーツ・テーピング	長尾淳彦	池田書店
The Taping Athletic Taping&Athletic Training 第2版	長尾淳彦/中嶋寛之 監修	二チバン
整体療術教本 DVD付きだからよくわかる	丸井源由	現代書林
古賀稔彦の一本で勝つ柔道 現役を引退した現在だから明かせる投げ技の奥義	古賀稔彦	毎日コミュニケーションズ
柔道整復師国家試験出題基準 平成22年版	(財)柔道整復師研修試験財団 編集	医歯薬出版
整体法 わかりやすい肩の講座!	井本邦昭	三樹書房
柔道整復学 理論編 改訂第5版	(社)全国柔道整復学校協会・教科書委員会 編集	南江堂
柔道整復師国家試験 傾向と対策2010	柔道整復師教育研究会 編集	南江堂
整体法 わかりやすい腰痛講座! やさしい語り口調で腰痛の原因と改善法を知る	井本邦昭	三樹書房
新装版 体のゆがみを治す!筋肉・筋膜ほぐし	村上一男 監修	宝島社
失行	河村満/山鳥重/田邊敬貴/	医学書院
自立整体 痛みの治し方 食事・睡眠・排泄で根本からからだが変わる	矢上裕	サンガ
解剖学総論 運動器系	Michael Schunke ほか/坂井建雄 ほか 監訳/	医学書院
筋骨格系のキネシオロジー	Donald A.Neumann/嶋田智明 監訳/平田織一郎	医歯薬出版

Illustrated guide to home chemistry experiments : all lab, no lecture
 Basic physics a Self-Teaching Guide 2nd edition
 Statistical methods in environmental epidemiology
 State of the world 2009 into a Warming World
 NMR studies of translational motion
 がんサイバパーシップ がんとともに生きる人びとへの看護ケア
 緩和・ターミナルケア看護論
 リハビリテーション看護論 第2版
 母性看護学各論 母性看護学[2] 第11版
 在宅看護論-地域療養を支えるケア
 看護実践のための心理学 改訂3版
 看護実習おたすけポケットブック-その場で確認!基礎看護技術-
 小児看護学概論 子どもと家族に寄り添う援助
 看護管理概説-21世紀の看護サービスを創る
 救急・クリティカルケアにおける看護
 ここからはじめる!看護国試必修対策テキスト 2010年版
 よくわかる看護師試験のための論文術 看護師と看護師試験についてわかりやすく解説
 看護の原理 ケアすることの本質と魅力
 看護師国家試験 ココがよくでる!重要項目'10年版
 定状からみた小児看護 事例から学ぶ看護ここがポイント
 I章~VI章 系統別成人看護学問題編・解答編 (人体の構造と機能/疾病の成り立ちと回復の促進/成人看護学)ほか
 New看護過程に沿った対症看護 病態生理と看護のポイント
 看護矛盾論 新体系の看護理論
 看護の危機と未来 今、考えなければならぬ大切なこと
 マーガレット・ニューマン変容を生み出すナースの奇り添い看護が創りだすちがひ
 看護研究で迷わないための超入門講座 研究以前のモンダイ
 人間対人間の看護
 オレム看護論入門 セルフケア不足看護理論へのアプローチ
 カルペニート看護過程・看護診断入門 概念マップと看護計画の作成
 Psychiatric nursing 5th ed.
 Wong's essentials of pediatric nursing 8th ed.
 Fundamentals of Nursing 7th ed.
 Lippincott manual of nursing practice 9th ed
 Managing incomplete abortion
 Notes on nursing : a guide for today's caregivers

他

Robert Bruce Thompson
 Karl F. Kuhn
 Duncan C. Thomas
 Robert Engelman
 William S. Price.
 近藤まゆみ 編著/嶺岸秀子 編著
 鈴木志津枝 編集/内布敦子 編集
 中西純子 編集/石川ふみよ 編集
 森恵美 著者代表/高橋真理 ほか
 櫻井尚子 編者/渡部月子 編者/臺有桂 編者/
 河合優年 編者
 森敏子/三石里絵
 二宮啓子 編集/今野美紀 編集
 井部俊子 編集・監修/中西睦子 監修
 山勢智江 編集・鈴木敏行 編集長/川上美知子 編集/
 さわ研究所 編者
 土屋書店編集部 編者
 藪沼恵子 ほか 編集・韓/川島みどり ほか 韓
 吉田礼子 監修
 東京都立清瀬小児病院看護科 編集
 さわ研究所 編
 市村久美子 [ほか]執筆/高木永子 監修
 三瓶真喜子
 川島みどり
 マーガレット・ニューマン/遠藤恵美子 監訳/ニューマン理論
 西條剛央
 Joyce Travelbee/長谷川浩 訳者代表/藤枝知子
 コニー・M・デニス 著/小野寺社紀 監訳
 リンガ・カールニート・モイ(編輯部 訳/山勢智江 訳/
 Norman L. Keltner /Lee Hilyard,
 Marilyn J. Hockenberry /David W
 Patricia A.Potter /Anne Griffin
 Judith A.Schilling McCann /H.Na
 the International Alliance of
 O'Reilly
 J. Wiley
 Oxford University Press
 W/W/Norton&Company
 Cambridge University Pres
 医 歯 薬 出 版
 ヌーヴェルヒロカワ
 ヌーヴェルヒロカワ
 医 学 書 院
 メディカ出版
 メディカ出版
 オーエムエス出版
 南 江 堂
 日本看護協会出版会
 学 習 研 究 社
 啓 明 書 房
 土 屋 書 店
 ライフサポート社
 成 美 堂 出 版
 メジカルビュー社
 啓 明 書 房
 学 習 研 究 社
 金 芳 堂
 ライフサポート社
 医 学 書 院
 医 学 書 院
 医 学 書 院
 医 学 書 院
 Mosby Elsevier
 Mosby/Elsevier
 Mosgy/Elsevier
 Wolters Kluwer Health/Lip
 World Health Organization
 Baillière Tindall/Elsevie

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ (視聴覚資料) ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

ステッドマン医学大辞典 CD-ROM for Windows 英和・和英+医学略語辞典 改訂第6版
 一次救命処置(BLS) 成人用
 二次救命処置(BLS) 成人用
 循環の領域 不整脈・虚血性心疾患(狭心症、心筋梗塞)・心不全(急性、慢性)・高血圧 第1集
 血液の領域 貧血・白血病・血栓、塞栓症・血友病 第2集
 呼吸の領域 気管支喘息・慢性閉塞性肺疾患(COPD)・かぜ症候群・肺炎・肺結核 第3集
 消化の領域 胃炎・消化性潰瘍・過敏性腸症候群(IBS)・下痢、便秘・ウイルス性肝炎 第4集
 代謝の領域 糖尿病・脂質異常症・高尿酸血症・痛風・骨粗鬆症 第5集
 フィジカルアセスメントの所見 Vol.5
 腎・泌尿器の領域 腎臓とその疾患 糸球体腎炎 続発性糸球体疾患 前立腺肥大症 勃起障害(ED) 第6集
 坐骨神経痛に対するトリガーポイント鍼療法 トリガーポイント鍼療法の理論と治療手順
 坐骨神経痛に対するトリガーポイント鍼療法 責任トリガーポイントの検索と刺鍼
 中国鍼灸療法 鍼治療の刺法(1)・(2) 2004年改訂版
 中国鍼灸療法 内科の診断と治療(1)~(3) 2004年改訂版
 心を通わす医療 ANAの「接遇の心」を患者様対応に活かす-患者様心理を考える-
 運動・神経の領域 てんかん パーキンソン病 認知症 脳血管障害 第7集
 ハービー安らかに The End of Life 7

他

メジカルビュー社
 ビデオ・パック・ニッポン 制作
 ビデオ・パック・ニッポン 制作
 山崎純一 監修
 倉石安庸 監修
 本間栄監修
 住野泰清監修
 芳野原 監修
 芳賀佐和子 原案・監修/佐藤富美子 原案・出演
 相川厚 監修/永尾光一 監修
 黒岩共一 実技・解説
 黒岩共一 実技・解説
 岩崎泰雄 監修
 BBC Worldwide Limited
 ビデオ・パック・ニッポン
 ビデオ・パック・ニッポン
 医学映像教育センター
 医学映像教育センター
 医学映像教育センター
 医学映像教育センター
 医学映像教育センター
 医学映像教育センター
 ジャパンライム
 ジャパンライム
 ジャパンライム
 ANA ラーニング
 医学映像教育センター
 BBC/ 丸 善

図書館からのお知らせ

オンラインジャーナルについて

下記の購読雑誌(Print)を2010年からオンラインジャーナルに変更。

(鍼灸学部 保健医療学部系)		
誌名	出版社名	P or OJ
1. American Journal of Chinese Medicine	1. World Scientific Publishing CO Pte Ltd.	OJ
2. American Journal of Sports Medicine	2. Sage Publications Ltd.	OJ
3. Blood	3. Blood Journal	OJ
4. Cell and Tissue Research	4. Springer-Verlag GmbH & CO	OJ
5. Clinical Orthopaedics & Related Research (CORR)	5. Springer-Verlag GmbH & CO	OJ
6. Journal of Experimental Medicine	6. The Rockefeller University Press	OJ
7. Journal of Immunology	7. American Association of Immunologists	OJ
8. Journal of Neurophysiology	8. The American Physiological Society	OJ
9. Journal of Physiology	9. John Wiley & Sons Ltd. (formerly: Blackwell)	P+OJ
10. NMR in Biomedicine	10. John Wiley & Sons Ltd.	OJ
11. Proceedings of National Academy of Sciences	11. National Academy of Sciences	OJ
12. Radiology	12. Radiological Society of North America, Inc.	OJ
(看護学部系)		
1. Journal of Advanced Nursing	1. John Wiley & Sons Ltd. (formerly: Blackwell)	P+OJ
2. Journal of Obstetric, Gynecologic & Neonatal Nursing (Incl. Nursing for Women's Health)	2. John Wiley & Sons Ltd. (formerly: Blackwell)	OJ
3. Public Health Nursing	3. John Wiley & Sons Ltd. (formerly: Blackwell)	P+OJ
4. Research in Nursing & Health	4. John Wiley & Sons Ltd.	OJ

購読中止の雑誌

- American Journal of Nursing
- Archives of Psychiatric Nursing
- Journal of Nursing Administration (JONA)
(Including JONA's Healthcare Law, Ethics, and Regulation)

平成20年度の収書・蔵書状況

- 収書冊数：一般図書692 (15)、製本雑誌533 (253)、視聴覚資料25 (0) 合計1,250 (268)
- 蔵書冊数：一般図書50,261 (9,904)、点字図書1,404、製本雑誌13,547 (6,770)、視聴覚資料2,260 (123) 合計67,472 (16,797)
- 雑誌タイトル数：学術雑誌182 (63) 一般雑誌6 合計188 (63)
()は外国書で内数。

平成20年度図書館利用状況

1、貸出件数

各学部合算(延べ人数)

区分	冊数	1年生	2年生	3年生	4年生	院生	卒研生	その他	教職員	小計
		H20年度	221	815	847	872	975	—	100	602
	%	5	18	19	20	22	—	2	14	100
	人数	134	495	525	555	388	—	42	180	2,319
	%	6	21	23	24	17	—	2	8	100
H19年度実績	冊数	321	743	401	979	1,001	—	79	757	4,281
	%	8	17	9	23	23	—	2	18	100
	人数	219	506	263	626	333	—	36	229	2,212
	%	10	24	12	28	15	—	2	10	100

*学部生の長期貸出(上記表の内数)

受け付け期間	鍼灸 保・短 看護			H19年度実績
	鍼灸	保・短	看護	
夏季休業(7月23日~9月12日)	67	22	52	153
	44	16	27	90
冬季休業(12月10日~26日)	77	14	52	—
	43	9	28	—
春季休業(2月4日~3月23日)	104	21	62	227
	62	14	34	138
合計	471			508
	277			309

2、閉架資料利用件数(閲覧・貸出)

区分	1年生	2年生	3年生	4年生	その他	小計	H19年度実績
冊数	45	166	309	675	114	1,309	1,578
人数	35	105	225	455	57	877	1,024

3、文献複写(図書館相互協力)

(平成19年度実績)

- 受付件数 94件、304 枚 161件、524 枚
- 依頼件数 76件、274 枚 46件、242 枚

4、休日開館(土曜日)の利用状況

(平成19年度実績)

- 開館日数 39 日 37 日
- 利用人数 44 人 42 人



編集後記

本年度の「特別寄稿」は、健康 予防鍼灸学ユニットの片山憲史先生と臨床鍼灸学ユニットの石崎直人先生にお願いいたしました。片山先生には南丹市の自然について心温まる文章をお寄せいただきました。大学からの帰り道でよく見かける鹿や狸から小さい虫に至るまで余計に愛着がわいてくるような気持ちになりました。石崎先生には論文完成の奮闘を絡めた台湾旅行記をお寄せいただきました。研究で壁にぶつかった時、1人の人や1つの論文に出会うことによって急にbreak throughがはかれることは時々あるように思います。「自著を語る」のコーナーは、整形外科学ユニットの平澤泰介先生と伝統鍼灸学ユニットの篠原昭二先生にお願いいたしました。いずれの本もお二人の先生のlife workの集大成となる内容のものと思われま。ぜひ一読いただきたいと思います。その他の随想は臨床鍼灸学ユニットの吉元授先生と基礎鍼灸学ユニットの日野こころ先生にお願いいたしました。シンプルで歯切れのいい文章を書いていただきました。お忙しい中ご寄稿いただきました先生方には厚くお礼申し上げます。

(中尾昌宏)